

リーディングDXスクール事業【実践事例】

一宮市立朝日西小学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 学校全体での情報活用能力の育成の取り組み

各学年に情報モラルの授業



高学年から低学年へ



タイピング練習



カメラ機能やデジタルホワイトボードの活用（低学年）



低学年では、基本的な操作の習得のため、6年生が先生役となり教えてもらっている。また、はじめの一步として、カメラ機能やデジタルホワイトボードなどを効果的に使い、生活科のアサガオの観察や、体育のダンスの動画撮影、発表会用のスライド作りなどを行った。中学年では、社会科の学習を中心に、情報収集、整理分析、まとめの学習過程サイクルを学び、主体的に学びに取り組む基礎を養っている。このように、発達段階に応じて指導を行うことで、基礎的なタブレット操作の技能を身に付けることができる。

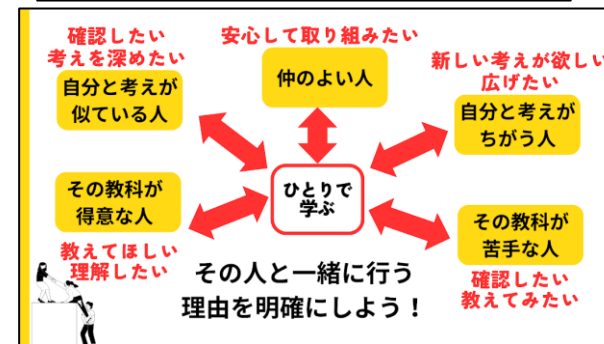
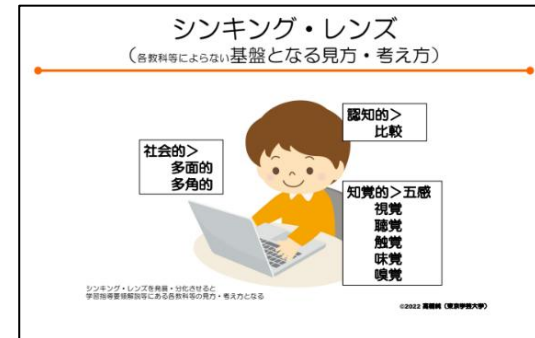
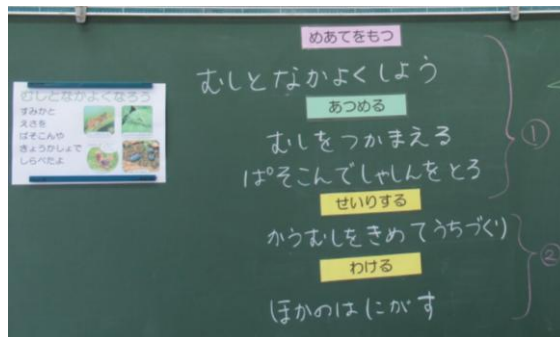
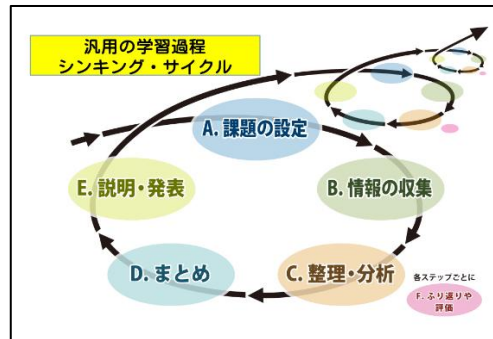
また、情報モラル教育を行い、情報の扱い方やネットモラルなどを日々学んでいる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

一宮市立朝日西小学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 学校全体での情報活用能力の育成の取り組み

学習過程、物事の見方・考え方、話し合いの方法の掲示



「課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ」の学習過程を身に付けさせるために、各教室に掲示している。低学年では分かりやすい言葉にして、1年生から学習過程を意識した授業を行っている。また、高学年では、授業で使うスライドに常に学習課程を示しており、いつでも振り返ることができるようにしている。発達段階に応じた指導をすることで、低学年から学び方を意識させている。

参考文献：高橋純. 学び続ける力と問題解決 シンキング・レンズ, シンキング・サイクル, そして探究へ. 東洋館出版社, 2022, 146p.